

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	神埼市立脊振小学校
1 前年度 評価結果の概要	・小中合同の交流活動、交流授業については、コロナ禍の中でも状況に応じて、実施することができた。来年度は、共通の研究主題を設定し、ベクトルを揃えて、9年間の成長を見据えた学力向上を目指したい。 ・児童が支え合いの中で安心して学校生活を送ったり、困った時は家庭や学校の誰かを頼ったりすることができていた。引き続き、お互いの人格を尊重する指導を行い、支持的風土作りを推進したい。 ・地域・社会と連携し、様々な体験活動を通して、故郷を大切にし、生き方を再考する機会を引き続き持たせ、自ら考えて行動する児童を育成したい。
2 学校教育目標	脊振を愛し 進んで学ぶ たくましい子どもの育成
3 本年度の重点目標	①安心して学べる場を確保し、子ども・保護者・地域から信頼される学校をつくる。 ②教職員の意識改革と効率的な自己研鑽を推進し、指導力と人間性の向上を図る。 ③「知、徳、体」の調和のとれた生き抜く力を備えた子どもを育成する。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価		
(1)共通評価項目							
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 (校内研・授業改善・読書の習慣化)	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ●図書室の年間貸し出し冊数が本人目標達成者80%以上	・教師の技により対話的な学びの場を充実させ、児童の学びの深まりを図る。 ・児童による授業の評価を取り入れ、授業改善に生かす。 ・授業時間外の図書室利用の促進と、読書ががんばり週間を設定する。	B	・児童の思いから主題やめあてをつくったり、「せふりっ子つなぎことば」を意識させて対話させたりなど、主体的で対話的な深い学びの実践に向けた授業改善への取り組みができている。 ・図書館まつりやひらめきクイズを行うことで授業時間外の利用を促してきた。また家庭学習ががんばり週間の中に読書の項目を入れて、読書ががんばり週間を継続して取り組んでいこうと思う。		
	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 (人権・同和教育・道徳) ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 (生徒指導・教育相談)	○神埼市の「四か条の誓い」や脊振小の「石の門の教え」をもとに、感謝の気持ちや礼儀正しさ、思いやりの気持ち等を育むために、教育活動全体を通して繰り返し指導し、90%の児童が生活の中で意識して実践できるようにする。 ○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・人権集会の実施 ・全校で「ぼかぼか広場」(友達の良い行動の紹介)に取り組み、定期的に人権担当からカードを紹介する時間を設け、友達の良さ見つけへの意識を高めていく。 ・「特別の教科 道徳」についての校内研修等を行う。 ・日常の観察や定期的な個人面談、アンケートを行い、児童の実態把握に努める。 ・把握した情報は、記録用紙に記録し、学校所定の記録簿に綴る。また、職員連絡会、生徒指導・教育相談連絡協議会等で共通理解を図り、職員全体で対応する。	B 		